

歯周病と全身疾患～エビデンスに基づくコンセンサス～  
歯周治療と糖尿病～知っておきたい最新エビデンス

東京都開業 富岡歯科医院  
富岡栄二

1980年代、1990年代の疫学調査により、糖尿病が歯周病を重篤化するリスクファクターであることが示されたが、現在では、歯周病が糖尿病に影響を及ぼしており、歯周病と糖尿病は双方向の強い関連があると考えられている。また、歯周病と心血管疾患や早期低体重児出産の関連など、近年では、歯周病の感染や歯周病による炎症が、全身的な健康にどのように関わっているか（Periodontal Medicine）が検証の対象となっている。

American Academy of Periodontology と European Federation of Periodontology の共同ワークショップにもとづく、2018年の歯周病の新分類の項目でも糖尿病の評価が組み込まれており、歯周病は口腔内だけでなく全身的観点からとらえられ始めている。

このような背景のなか、本講演では、歯周病と糖尿病の双方向の関連性、糖尿病患者における歯周治療に際しての配慮、糖尿病患者にたいする歯周治療の効果が非糖尿病患者と比べて違いがあるのかどうかなど、糖尿病患者の歯周治療をおこなう際に知っておくべき事項についてエビデンスを元にご紹介したい。さらに、歯科と医科の連携の重要性もさげられる中、歯周治療が糖尿病の改善に寄与できるかどうかについて、最新のエビデンスを検証する。

#### 略歴

1984年 東京医科歯科大学歯学部卒業

1984～1987年 東京医科歯科大学 第三補綴学教室

1995年～1998年 スウェーデン イエテボリ大学歯周病科、歯周病専門医取得

1998年 スウェーデン ウプサラ大学顎顔面外科、補綴科

1988年 富岡歯科医院（東京都）開設、現在に至る